

第5回みんなのタウンミーティング会議報告（令和5年度第2回）

- 1 開催日時 令和5年5月27日（土） 午前10時30分～12時00分（延長により12時23分終了）
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民19名
- 4 会議次第
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ（市政報告）
  - (3) 懇談（フリーテーマ）
  - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	歩道・ベンチ等について	歩道のタイルについて、ごみ処理場で処理して最後に残ったものをコンクリートと混ぜて、それを歩道に敷き詰めてもらいたい。雨の日だとか何かに滑らないように。また、横断歩道はその白い歩道のところが滑るんです。ですが、緑と赤の道路は絶対滑らないらしいのでそのようにしてほしい。また、ベンチをもう少し増やしてほしい。	舗装材の件は、担当課にお伝えしておきます。白い線についても、どういう状況だったかというのを確認をいたします。ベンチの件についても多数そういった御意見はいただいておりますので、御意見として承ります。
2	誰でもトイレについて	だれでもトイレについてです。だれでもトイレと言いながら、障がいのある人が使いにくかったり、非常時に助けを呼ぶシステムが使えなかったりするので、市の方で確認していただきたいというようなことを、以前参加したときに発言したんじゃないかと思うんですが、その後どうなったでしょうか。 実は公民館のトイレで検証したんです。そうしたところ、使い方が分からなかった。職員の方も分からなかった。これだと、トイレの中で倒れても、誰も気がつかないという状況もありますので、何とか市の方で、各公民館とか公共施設のトイレ、そういうところがどうなっているのか、非常ボタンがちゃんと押せるのかどうかという検査を全体的にやらないといけないと思うのですが、いかがでしょうか。	以前ご指摘もいただいておりますので、市全体としてどうなっているのかというのを調査しようということと呼びかけております。まだまとめをお示しできる状況にはなってないのですが、近いうちに何らかの形で示しできるようにしたいと思います。
3	武蔵小金井まちかど歴史ミュージアムについて	タワーマンションの4階にあるまちかど資料室とは何でしょうか。すごい場所がいいところなのに、多くの方が存在を知らない。もったいないと思います。	あのビル自体は民間による再開発事業です。その再開発事業は市の施行ではなく、地元の地権者の方々が組合をつくって施行し、市は補助金を出しています。その関係で、一角で例えば文化財みたいなものを展示するなどして、小金井市のことを少しでも知ってもらうスペースというのを設けていただけないかということで、まちかど歴史ミュージアムを設置したという経過がございます。生涯学習課も連携をしておりますので、その周知については伝えておきます。
4	文化財のデジタルアーカイブについて	市の文化財関係のデジタル化について、市議会の答弁があったので楽しみにしていたんですが、まだ進んでいないように感じますが進捗はいかがでしょうか。	文化財のデジタルアーカイブ化については、具体的にどう着手するか、どうやって取り組むかということは決まっていないんですが、この件は教育長とも話はしているところです。生涯学習課が文化財を所掌しておりますので、そこが中心になって検討していくことになると思います。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
5	C o C oバスについて	<p>C o C oバスですが、市民が180円で乗る人と、100円で乗る人がいるという、そのような市はどこもないと思いますが、小金井市はずっとそのままなんですか。また、どうして介護保険の証明を持っていかないと回数券が買えないんでしょうか。</p>	<p>C o C oバスについては色々なご意見をいただいております。もともとワンコインだけで乗れたものが、今は4月から180円ということになっております。介護保険証を提示して100円の回数券を買うという、そこに対するご意見もいただいております。実はC o C oバスの再編事業の中でも、かなり色々な手法で、こうやったらどうか、ああやったほうが便利なんじゃないかという、色々な議論もあった上で、一旦その方向でやらせていただいております。引き続きどういう方法で利用しやすくなるかというのを考えたいと思います。4月以降、色々な御意見をいただいておりますので、担当課の方に私からもお伝えしておきます。</p> <p>値段に関しては、ワンコインが市民にとっては非常に利用しやすかったと思います。ただ、部分的に民間のバス事業者と路線がかぶるところもございます。そうすると、みんなC o C oバスを利用すると、民間事業者が撤退をするということが起きてしまいます。多くの民間事業者が、今この線も非常に厳しいと言われていまして、撤退されてしまい、例えばC o C oバスしか残らないとなると、公共交通の選択肢がなくなってしまって、その方が実は市民全体に不利益があると考えます。</p> <p>したがって、まず民間事業者とC o C oバスを含めて、公共交通全体をどう維持していくかという観点で考えたときに、運賃自体を民間バス事業者並みに上げざるを得ないという、こういう判断でございます。これは小金井市だけではなく、この10年間かけて、周辺の色々な自治体で、もともと100円、120円、150円だったものが、民間バス事業者並みに合わせないと、民間バスは撤退することになるという話になってきております。</p> <p>近隣の武蔵野市さんはワンコインにこだわってやられておりますので、それとの違いというのが際立っておりますが、非常に心苦しいんですけれども、やはり、公共交通全体を維持するためにはどうするか、こういった過程から考えさせていただいているということでございます。ちゃんとお答えできていないところもありますが、それは意見として担当課にはお伝えいたします。</p>
6	緊急輸送道路について	<p>新庁舎については議会で議論されるということですが、市役所の役割というのは災害時の拠点になるという部分では、小金井公園なり、野川公園だとかの大きな、災害拠点とつながる部分の本当に中心的なところになると思うので、そこにつながる、大切な道路というものは早く整備していただきたいなというふうに思います。市民としても、やっぱり何かあったときどうなるのかというところは、そこはすごく気になりますので、ぜひ進めていただきたいなと思います。緊急輸送道路と新庁舎の災害への考え方を教えてください。</p>	<p>新庁舎ができますと、そこと警察署、消防署、各種病院など、そういう機関とのルートをどう確保するかということが課題となります。新庁舎に移転したときにどうなるかというのは、今資料がないのでつぶさにお答えできませんが、新庁舎と色々な機関を結ぶ道路をどうしていくかということは当然優先的に考えていくこととなります。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	新庁舎・新福祉会館について	<p>庁舎については、優先度の問題でいくと、市長は公約で子どもを大切にするという趣旨のことをアピールされていたので、例えば小学校の改築とかそういうことの方が大切だと思われませんが、いかがでしょうか。</p>	<p>庁舎については、庁舎問題が起こってから30年は経過しています。あの蛇の目ミシン工場跡地、要するに庁舎建設予定地が一番バブル期の絶頂といえますか、一番高いときに買って、今はその価格が3分の1以下となっています。この30年は、特に市民の皆さんもさほど問題があったわけではないと思います。ただ、今使っている本庁舎そのものがもう老朽化しておりまして、耐震診断をしたところ、一般的な基準はクリアしておりますが、庁舎というのは、一般的な建物の1.5倍の強度が必要だということなのですが、それを実は満たしておりません。でするので、熊本級の地震が2回、3回と来ると、とても使える状況にはならないということも言われております。</p> <p>また、第二庁舎はリース庁舎でございまして、毎年、建物の賃料だけで2億数千万円、隣の駐車場を含めると2億七、八千万円ということで、これまで100億円近く払ってきたんです。それもこれまでの経過があってそうなっているものです。賃料については、値上げの話もあり、色々話し合っているんですけども、かなり不利な環境にあります。また、庁舎の状況が古いという話をしましたが、やはり設備的なものも含めて、働く職場としても非常によろしくない状況です。例えば、本庁舎は1階のトイレの天井が落ちてきたということなど、色々なことが起きています。いずれにしても何らかの形で今の環境を変えるということはやらざるを得ません。災害時の拠点になる場所が、やはり庁舎でもあります。もう一つは、福祉会館という建物ほもととあったんですけれども、それも耐震診断をすると、とても閉めざるを得ない状況になったので、急遽閉めました。それがまだ復旧できていない状況です。そういうことから、新庁舎と福祉会館、これは早く建設していかなければならないということでございます。</p>
		<p>市庁舎と福祉センターの建設の問題ですが、材料費がどんどん高騰していつているけど、税金も増えていて、小金井市にも入ってくるものもあるわけだから、材料費が高騰するかもしれないが、早く進めてほしい。</p>	<p>庁舎建設を早く進めてほしいという件については、私はそのように今、市議会のほうにご提案を申し上げておりますので、しっかりと進められるように取り組んでまいります。</p>
		<p>福祉会館を早く建ててほしい。障がい者が、あそこに行こうよというような場所として福祉会館だと行きやすい。今は障害者センターというところで、そこは駅からとても遠いので使いづらいです。福祉会館が早く建ててほしいなど思っております。</p>	<p>福祉会館につきましては、ご意見のとおり、こちらとしては早く建てていこうという方針で進めたいと思っております。</p>
8	都市計画道路について	<p>都市計画道路の中心申入れについて、ぜひ進捗状況をお伺いしたいなと思っております。</p> <p>市議会を見ていると、現在調整していますというような言い方をしていますが、この調整というのが正直よく分からないんです。施政方針など、一貫して速やかに中止をしたいというふうにおっしゃっていて、その熱意は変わらないものと受け取れた一方で、それまでの発信力、行動力が、今年の4月23日以降、なかなか見られないというのが気になっていて、その答えが調整という言葉であれば、具体的にどういったことになるのかという点について、お聞かせいただければと思います。</p>	<p>都市計画道路の中止の申入れの件については、今年の4月のブログは、市議会議員のときにそういった活動、行動していたということを報告申し上げたと思います。昨年11月の市長選に至るまでは、具体的に東京都へのアクションであったりとか、そういったことはおそらくなかったと思うので、議員として議会の中で質問したりだとか、取り上げたりとかということはやってきました。場合によっては、議会で東京都へ意見書を出すことも、その間も何回かあったかもしれませんが、特段ブログには記載していなかったところなんです。</p> <p>市長になりまして、中止の申入れをする、要望書を出すということで、この間ずっと動いております。ただ申し訳ありませんが、調整というものが何かということについては、議会でもご答弁できませんということを申し上げておりますので、ちょっとここで調整の中身について具体的に申し上げることはできません。ただ、今中止の要望書を出す、その動きをしていること自体変わりはありません。</p>
		<p>調整という点ですが、どこでこの調整になるのか、誰と調整しています、金額はいくらです、こういったものはお答えできないというのは分かるんですが、概要というか、こういった意見を調整する必要があるのでしょうか。市議は民意の反映で、市長は統合であるというようなことを書かれているのを拝見しましたが、何を統合しようとして調整しているのかというところについては、お答えは十分できるんじゃないでしょうか。</p>	<p>具体的には申し上げにくいですが、大変申し訳ありません。民意を統合するということのアクションとして、私は中止を要望するというふうには決めております。具体的に要望書を出すという行為そのものに関する調整をしているということでございます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
9	集会施設等について	<p>①小金井の中に集会所があちこちあるのですが、ほとんど活用されていないようなので、何かに活用するような計画はありますか。利用者もほとんどいなくて閉まっている状況なので、憩いの場所のようにしてほしいと思います。</p> <p>また、集会所、会館、文化センターと、担当課がみんな違うようなので、コミュニティの観点から担当課を1つにまとめたらどうですか。</p> <p>②公共施設に給水スタンドというのが入っているのですが、あれは何のために入っているのでしょうか。</p>	<p>①集会所に関して、ほとんど利用されていないという点です、利用率や稼働率といったデータを今持っておりませんので、明確にお答えはできませんが、集会所によっても、比較的利用される所と、されていない所と、色々分かれておりますので、一概に集会所がほとんど活用されていないというのには当たらないのかなという思いはあります。活用されていない施設があるのであれば、もっと活用できるようにしてほしいというご趣旨だと思いますので、そのようなことも含めて担当課で対応させていただきます。</p> <p>公民館、集会所、そのあたりの担当がそれぞれ違うということで使いにくいというご趣旨だと思います。まず、公民館は公民館法、社会教育という枠組みの中で位置づけられている社会教育施設になります。その他の集会所、集会施設は、そのような位置づけにはなっていないので、そこで大きく役割としては分けられるところがございます。例えば、一括で貸出しができるようにするためにはどうするかといったことも、実はかつて議会でも議論されたことがあります。ただ、集会所が地域の方々から御協力をいただいて管理していただいているということもございますので、今のところ一元管理するという仕組みというのは導入できていない状況ではございます。</p> <p>管理の在り方も含めまして、もう少し分かりやすくシンプルにできないかということは、色々な方からもご意見をいただいておりますので、少し時間がかかるかもしれませんが、できるところから改善していきたいと思っております。</p> <p>②給水スタンドについては、缶は比較的リサイクルしやすいんですが、ペットボトルはなかなかリサイクルしにくいものであるということで、いわゆるごみを増やしたりとか、逆にエネルギーを消費してしまうという背景があることから、できるだけ給水スポットで、自分のマイボトルを持ってきて水分を取れるという仕組みを市内でつくっていかう、という働きかけを今始めてみたところなんです。ペットボトルを減らすためには給水スタンドがあったほうが良いということで、まずはそういうスタンドを設け始めているところです。</p>
10	外国人支援について	<p>私は小金井国際支援協会という、民間のボランティア団体に入っております。主に子ども、小・中学生の外国人のお子さんの支援ということをやっております。</p> <p>ちょっと驚いたのが、小金井市に来て、まず外国人が困ったときにどこに行くのかということで聞いたら、専用の窓口がないと言われたんです。困っているのは外国人だけではなくて、市の職員の方も困っているんです。武蔵野市と三鷹市は国際交流協会があるので、相談窓口もあるし、日本語支援もあるし、多文化交流事業、お料理教室をやったりとか、色々なことやっているんですけども、小金井市はそういうのがないんです。</p> <p>外国人の人数は実は今、5月で3,000人を突破しまして、数字で言うと過去最高になっています。2.4%、計算すると、三鷹と武蔵野よりも外国人の割合が多いんです。なのに、何でこんなことになっているんだろうと思いました。外国住民の声を聞くようなことはなかったか調べましたら、2011年に外国人の住民意向調査以来やっていませんと言われました。他市はアンケートしたり、多文化共生の担当職員というのを置いたりして取り組んでいます。</p> <p>小金井市もコミュニティ文化課が頑張って交流事業はやっているんですが、あくまで交流なんです。だから、支援とか相談とかというのはやってないんです。国際交流協会をつくらなくても、例えば市民団体につなぐとか、ボランティアの人たちを生かすような仕組みについて、市が首頭を取ってというのはいけないのかなと思います。</p>	<p>問題提起いただいた外国人への支援という観点で、ご指摘のとおり、市の組織とか、要するに何を担当しているかというところを改めて整理をしてみると、そこが完全に抜け落ちているんです。国際交流自体は、交流としてはやっておりますが、結局交流止まり、それ以上のことをやらないという組織になっています。多文化共生という観点が、そこに支援も必要で、具体的な窓口があったほうが良いよねとか、それをやる組織体制に変えることをやってこなかったということがよく分かりました。</p> <p>組織体制はやっぱりやらないといけないということと、ただ、できることからやるということと、その2段階でやる必要があるかなと思っています。まずは、多文化共生をどういう整理をつけて、市として位置づけてやっていくかというのは、もう少し時間がかかります。ただ、それはそれで、やろうねという話をして、既に動き始めてどうか、どこが何を担当するかというところの話は今始めているところですので、どうしても、もう少し時間がかかってしまいます。</p> <p>これは、外国人の支援について、担当課はいないんですけども市全体に働きかけながら、場合によってはその窓口というのを市民課のほうで設置できるかどうかとか、ちゃんと理解できていない部分もあるので、いただいた意見を含めて、できるところから着手しないといけないという趣旨でございます。</p>



	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
14	北口の再開発について	武蔵小金井駅の北口の区画整理の計画というのは、今どうなっているのかなど、そこもちょっと気になりましたので、分かる範囲で教えていただければと思います。また、市のリーダーとして、再開発で入ってほしいところなどについてメッセージを出していただきたいなと思います。	武蔵小金井の北口につきましては、土地区画整理ではなく、再開発として今予定をしております。武蔵小金井駅の北口、今西友のビルがあるところ、そのちょっと北側まで含めた1区画を再開発するということが、これも地権者の皆さんが組合をつくって、今プランを練っているところです。ちょっとまだ具体的には示されないんですけども、市としても事業計画をつくる支援をしております。時期であったり、内容については示されておられません。ただ、やはりあそこもずっと何十年と再開発については、地元で協議をされてきましたので、できるだけ早くやろうと。市としてはしっかり支援していきたいと思っています。 北口の開発については、実はもう組合さんのほうで色々プランも動き始めています。一応ディベロッパーが入って、プランを練り上げているわけです。時々、何が入ったらいいと思いますかと聞かれるんですけども、あまり私がそこで具体的なことを言ってしまうと、色々問題がございます。実は再開発関係の方に聞かれたときに、ディベロッパーさんや関係者にお伝えしたのは、北口には人々が滞留する場所がないということ、要するに交流場所がないということ、それを何とかしたいと思っているんですということも述べておきました。人の動線も駅を降りたら、バスだけ乗って帰ってしまうという、非常にもったいない状況なので、何かそういう人たちが、少し寄りたい動機を持つようなコンテンツを入れることができないかということはお話をしています。そうするだけでも、ただ市外の人との交流の機会であったりとか、関係人口を増やすということに繋がりますので、そういうことをしたいという話はしているつもりです。
15	誰もが参加できる居場所づくりについて	J : COMが発信しているような、聞こえない人たち、または他の障がい者、みんなが集まって、手話通訳者の人たちと一緒にいたり、つくることができる場所が欲しいと思っています。	例えばJ : COMの番組の話も含めて、聞こえない方がそれを楽しむことができる、それを知ることができる環境づくりということだと思います。 市として何かをやる場合に、色々な立場の方々が情報を取れるようにするということが、理念としては掲げておりますので、まだ十分ではないかもしれませんが、取り組んでいきたいと思っています。また、どういった場であっても、誰でも参加できる環境づくりについては、市としても差別解消条例でそれは規定しておりますので、取り組んでいきたいと思っています。
16	手話言語条例について	私たち聴覚障がい者は、手話言語条例というのをつくってほしいと思っています。それに対してもぜひ援助してほしいと思っています。	手話言語条例につきましては、以前、市議会議員のときに勉強会を開催いただき、私も参加させていただきましたので、その趣旨については理解しておるつもりでございますが、まだまだ不勉強なところもございまして、またそういった学ばせていただく機会などにも参加して、検討していきたいと思っております。

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
17	SNSの利用について	<p>市長のSNSの利用、特にツイッターの利用に関して質問したいと思ってまいりました。</p> <p>市役所のホームページに掲載されているYouTubeなり、実際丁寧に見ていこうとすると、めちゃくちゃ時間がかかるので、なかなか日々の生活に追われている自分としては、これをつぶさに見るのは難しいです。</p> <p>市長のツイートに関して、市長としてのツイッター発信は、厳しい方からすると、マスコミの引用ではなくて、市の公式見解、公式発表でなければならないと、見ているようですけれども、そういうようなツイッターの発信に関して、白井市長はどのようにお考えでしょうか。利用のコンセプトをお伺いします。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>ツイッターの私の使い方については色々御意見をいただいております</p> <p>なないろ保育園の保育士が一斉に休んで休園をせざるを得なくなったという件については、これは4月19日の話なんですけれども、そのときに、私がツイートしたことが、市長としてどうなのということと言われました。まず、それについては、市議会議員に事前に、午前中に情報提供を内々でさせていただいております。これは、今ここで、こういう状況が起こっていますよということを情報提供したわけなんです。</p> <p>それを受けてか、どこから情報が入ったか分かりませんが、特定の市議会議員さんが先にツイッターで、ちょっと事実と違うような書き方を含めて、要するにボイコットという言葉を書いて投稿されていたんです。それで、こんな保育園を許していいのかとか、そんなときに公立保育園を廃園にしているのかという、色々な問題をごちゃ混ぜにしたような、適切ではない投稿をされていて、それは先に拡散されていました。</p> <p>それを見て、ちょっとこういう書き方はどうかと思いつつも、正直、市で公式見解を出すには若干時間がかかるというか、そういう事務的な都合もあつたりするんですけれども、これはできるだけ早く、適切な情報を出したほうが良いと私は判断したので、あくまで市議会議員に情報提供した内容のレベルで、私としては自分の個人のツイッターで、今こういうことが起こっていますということをお知らせしたつもりです。</p> <p>これに対しては色々批判もありました。色々言われましたけれども、私としては、そのときの判断としてそうさせてもらったとしか言いようがないんです。</p> <p>あとは、市としてまだそれに対して公表するつもりはなくても、メディアのほうで先に出されるケースというのは多々あります。それについては、もともと別に市で公式見解を出すつもりがないわけですから、それについては記事を引用させていただいているというだけの話で、逆に、私としては、こういうことがあるよということを知ってもらいたいけれども、市で公式見解を出すというレベルには至っていないものについては、普通に記事を引用させていただくことに何の問題があるんですかということ、私は述べさせていただきたいんです。</p> <p>ただ、行政としての発信、広報、これについてはもう少し整理をしないといけないというか、体制もツールも含めて整えないといけないという認識はあります。できるだけ多くの方に市政に関心を持ってもらいたいですし、できるだけ適切な情報を受け取っていただきたいという思いがある。そこがベースにあるということだけはお伝えしたいと思います。</p>
18	学習ボランティアについて	<p>私の子どもが一人で学校に行けない、登校渋りという状況に陥りまして、そこから毎日母子登校が始まり、その中で、私はその子どものもともとの教室に残って、担任の先生と、子どもたちに先生の補助として算数のお手伝いをするような流れになりました。私のような素人であっても、先生のお手伝いができているというところにすごいモチベーションを感じて、それからずっと学習ボランティアを続けています。</p> <p>こんなに子どものサポートとか、先生のサポートの必要性を感じているのに、何で学習ボランティアが増えないか。増えないというか、何でいないのかなと考えたときに、ホームページ上では、市立の小・中学校のボランティア案内がありますが、それは私自身は全く知りませんでした。恐らく周りの大人もそういうボランティア活動があるというのを知らない人がほとんどかなと思います。こういう募集をされているのに、広く知られていないという状況はどうなのかなと思いました。</p> <p>また、やはりボランティアだから、そこに対価を求めるのはおかしいのかもしれないんですけれども、そこに対して長く続けられるようなモチベーションを、何かその対価として付けない限り、やはり学習ボランティアは増えないと思います。市から有償のボランティアに引きあげてもらえるような働きかけが欲しいなと思いました。</p>	<p>学習ボランティアをやっているということ、ありがとうございます。募集をしたいが、誰でもいいというわけではなく、逆に、何かあったときに責任を取られるのは校長先生だったりもしますので、安心して任せられる人とかいうと限られてしまうと。ただ、それは何が基準でその人なのという声も、一方であると。学校というの、色々な地域の方々も含めて、もしくは保護者を含めて成り立っているものですから、やはりそういう色々な意見も含めて考えていくと、色々な人になかなかお願いしにくいみたいところが、背景としてあると思います。明確にこういう人というところのルールや条件ではないですけれども、整理するというのが1つの考え方としてもあるなというのは、改めてお話を聞いて感じたところです。</p> <p>この件については、教育長とも子どもたちの学習環境について、色々な懸念点、もしくは課題というのを共有しておりますので、有償にできるかどうかというところは、また色々な課題もございますので、貴重な御意見として受け止めさせていただきます。</p>